

令和2年11月18日

保護者の皆様
関係各位

昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

すべての命を守るために（冬に向けて）

向寒の候、皆様におかれましては、この災禍にあつてご苦勞も多いかと拝察いたしております。日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染は強烈に拡大しており、未曾有の感染者や入院患者、死亡者が出ている国では、部分的または完全なロックダウン（都市封鎖）を実施している危機的な状況が続いているようです。救急病棟や集中治療室が埋まり、限界に達しようとしています。

このことは、日本国内でも同様であり、冬に向かって気温が下がる中、これまで以上の危機感をもって、教育活動を工夫していかなければならないと認識しております。

また、重要なことは、子供たちに関わるすべての人々が、感染予防に対する認識を共有することだと感じています。私たち大人に求められていることは、専門家が発信する正確な情報を捉え、分析し、社会の構成員の一人として責任ある行動をとることです。

新型コロナウイルスは、感染しても無症状であったり、症状が軽かったりすることも多く、その場合でも他者に感染させる危険があるという特徴をもちます。重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に、無症状者や軽症者から感染が広がる危うさがあります。自分一人くらい、私たちのグループくらい平気だろう、という甘えと過信を払拭して、私たち一人一人が責任をもって、「すべての命を守る」という気概をもつことが肝要ではないでしょうか。

私たちの一人一人の行動が、身近な隣人に、さらには医療体制が整っていない見知らぬ国や地域の人々に、危機的な影響を及ぼすことを想像しなければなりません。

命は、一人に一つしかありません。私たち教職員一同は、今後もすべての判断の根拠として、かけがえのない「すべての命を守る」という信念を第一義として、教育活動を展開していきます。

具体的な感染症対策（教室の換気、手洗い、マスク、健康観察、三密回避などの徹底）については、これまで同様、[学校ホームページ](#)を更新していきますので、適宜ご覧ください。

なお、参考までに、教職員に関わる対応は、以下の通りです（介助員や教育支援員等、学校の業務に関わる者についても同様です）。

- ☛ 教職員、児童又はその保護者の感染が確認された場合は、令和2年8月27日配布「新型コロナウイルス感染症に対する学校の対応について（改訂版）」を参照し、迅速な対応を図る。
- ☛ 教職員に対しても毎朝の検温を義務付けし、健康状態を管理職に報告させる。
- ☛ 教職員においても、手洗い、咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底を図る。
- ☛ 学校再開後も児童やその保護者に安心感をもたせるために、学校は児童とその家庭に対して、「繋がる」「守る」「切り拓く」をテーマに働きかける工夫を行う。
- ☛ 学校管理職及び養護教諭は、新型コロナウイルス感染症対応に係る国や都の通知等を熟知するとともに動向に注視し、適切な対応が図れるように準備をしておく。
- ☛ 休日や長期休業日の旅行や飲食等については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、適切に判断するように管理職から教職員への指導を徹底する。（新規）